

令和 6 年度 学校経営計画書

総社市立清音小学校 校長 真壁 隆志

1 そうじゃ教育大綱

○総社を愛す子供

○心優しい子供

○礼儀正しい子供

2 本校のミッション(使命, 存在意義)※学校教育目標を踏まえた, 児童に対する使命(存在意義)

○確かな学力と豊かな人間性を身に付け, たくましい心身をもつ児童を育成する。

○家庭や地域と連携しながら, 教職員が力を合わせて信頼される学校づくりを推進する。

3 内外の環境分析

(内部環境)

「強み」

- ・児童は明るく素直で気持ちのよい挨拶をする児童も多い。
- ・チャイムの合図を守ったり、靴の整頓をしたり等規律ある行動ができています。
- ・優しく、言われたことに一生懸命取り組むことができる児童が多い。
- ・教職員は、自分の仕事に前向きに意欲的に取り組んでいる。
- ・教職員・児童ともに ICT を積極的に活用し、スキルの習得もすすんでいる。

「弱み」

- ・不登校・登校渋りの児童が増えている。
- ・自己中心的な考えを曲げず、周りとの協調することが難しい児童、保護者がいる。
- ・個別支援(支援計画)が必要な児童が全児童の 20%以上在籍している。
- ・メディアコントロールに課題のある児童が多い。

(外部環境)

「機会」

- ・多くの保護者や地域住民は、教育熱心で学校教育に理解を示し、協力的である。
- ・地域をあげて児童の安全な登下校を見守るとともに、学習支援ボランティアも盛んである。
- ・学区は豊かな自然に恵まれている。
- ・校内に自然の森を再現したビオトープ「いずみの森」があり、自然に親しむことができる。地域も維持管理に協力してくれている。

「脅威」

- ・教育に関心が低く、児童の生活習慣や家庭学習の習慣に支援が必要な保護者がいる。一方で非常に過敏な保護者もいる。
- ・校舎、施設等が老朽化している。

4 学校経営ビジョン(将来像, 目指す姿)

学校教育目標

「夢や目標に向かって主体的に取り組み、自分も相手も大切にできる児童を育成する」

目指す教職員

- 子どもの成長を願い、使命感に燃える教職員
- 進取、創造に富み、日々研鑽に励む教職員
- 児童、保護者、地域住民、同僚に信頼される教職員

5 本年度の学校経営目標・計画

「主体的に考え、行動できる児童の育成」

◎ 自分で判断し、行動できる児童の育成

- ・児童がきまりの意味を理解し、自分事としてきまりを守れるような声かけを徹底する。
- ・児童が主体となって学校生活を向上させる取組みをすすめる。
- ・「ほめること、指導すること」を職員全体で共通理解し、全児童に全教職員が見逃すことなく声かけをしていく。
- ・精選した重点項目（あいさつ、くつ揃え、廊下歩行）を毎月週目標に設定し、粘り強く取り組む。

◎ 主体的に学習や体力づくりに取り組む児童の育成

- ・楽しく身に付く授業づくり。
 - *協同学習の充実（対話的に学ぶ授業の充実）
 - *自己選択や自己決定ができる場面を設定する。
- ・特別活動の充実
 - *児童に委ね、自分たちで運営、決定する機会（学校行事等）を設ける。
- ・体を動かす楽しさを感じる機会を意図的に設定していく。
- ・児童自身が計画的に時間を使い、見通しや目標をもって生活できるようにする。
（体力づくり・メディアコントロール週間を活用）

「教育の質の向上と働き方改革を併せて推進する」

◎ 働き方改革の推進

- ・時程の見直しを含めた抜本的な対策を時間外勤務の削減につなげる。
- ・衛生委員会等を通して、効果が目に見える取組を全職員で出し合い、業務改善を図る。

○ 夢や目標をもつ児童の育成

- ・本物に触れる機会
 - *外部講師を活用し、夢や目標に向かってがんばる人と関わる活動を取り入れる。
- ・総合的な学習の時間・キャリア教育の充実
 - *キャリアパスポートを活用し、キャリア教育全体計画を意識した横断的な取組みを進める。

○ 自分も相手も大切できる児童の育成

- ・総社っ子応援プロジェクトの取組を充実させる。
- ・人権教育の充実。
 - *学級でのよいところ見つけや「ありがとうポスト」「きらりの木」の設置等。

○ 地域に開かれた学校づくり（総社を愛す・清音を愛す子ども）

- ・「総合的な学習の時間」等で地域の素材（人、物、場所）を生かした授業作りを進める。
- ・学校支援ボランティアの活用により、学習効果を高め、学校・家庭・地域の連携を深める。
- ・学校便りやすぐる、ホームページ、オープンスクール、PTAの会合等で学校の様子を知らせ、保護者や地域の方に信頼される学校づくりを行う。

○ 校内環境の整備

- ・整理整頓を心掛け、掲示物等を工夫し効率的な校内環境や美しく温かい規律のある環境を作る。

6 そうじゃ教育大綱を具現化するためのアクション

「総社を愛す子供」

- ・生活科、総合的な学習、社会科などで、総社市の自然、産業、文化財、施設などを取り上げ、地域のよさについて理解させ、関心と愛着を持たせる。
- ・学習支援ボランティアの活用を図り、地域の方々に支えられていることを実感させるとともに感謝の気持ちをもたせる。
- ・10月の品格教育「ふるさと愛」について重点的に指導する。

「心優しい子供」

- ・「総社っ子応援プロジェクト」のSELやピア・サポート活動を通じて、優しく豊かな心を育てる。
- ・品格教育の目標を生かした月目標と週目標に基づき、「思いやり」「家族愛」「生命尊重」「友情」「感謝」について重点的に指導する。

「礼儀正しい子供」

- ・礼儀正しい言葉が使えるように指導する。
- ・児童会活動を通して、児童が自主的に気持ちのよい挨拶や返事ができるようにする。
- ・教室移動は黙ってし、話は目で聞くなど場に応じた行動ができるように指導する。
- ・靴箱やトイレの履物を美しくそろえることができるようにする。
- ・品格教育の目標を生かした月目標と週目標に基づき、「あいさつ」「責任感」「正直」「礼儀」について重点的に指導する。

